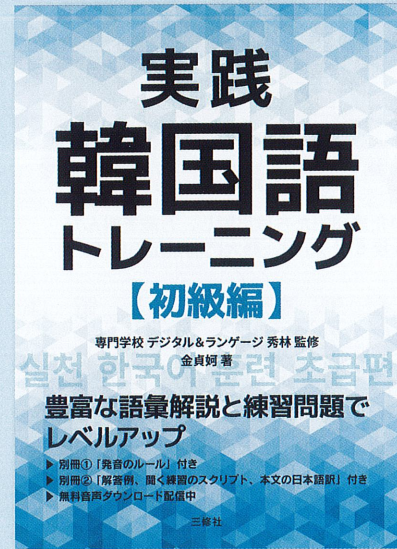


実践韓国語トレーニング 【初級編】



[著者] 専門学校デジタル&ランゲージ秀林監修 金貞珂
[出版社] 三修社 (2023年6月10日)
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-2-22
TEL 03-3405-4511
[定価] 2200円(税別)

コロナ禍が終わり現在インバウンドが戻りつつあるという。なかでも韓国からの客が特に多いという。逆に日本から韓国へ行く人も一番多いという。隣国だから当然といえは当然のことだ。こうした状況のなかで日本人の韓国語熟は英語に次ぐという。

韓国は隣国だけに語彙も文法も日本語と類似しているが、とはいえ外国語だけに違う点も多い。

本書は日本語との差異に気を配りながら、日本人読者に痒いところを工夫をこらして細かい点まで指摘しながら工夫をこらしている。

以下、本書の良心的な点を次のように述べる事が出来るだろう。

1. まず入門編では母音や子音の発音を初心者にもわかるように簡単に説明している事。

例えば二つある母音 e の発音を、『1]唇を横に開いて「エ」と発音します。日本語の「エ」より口をやや大きく開きます。2]日本語の「エ」とほぼ同じ音です。口をやや小さく開きません。』としていたりしている点である。

子音でも k h の発音を、『k を発音しながら息を激しく吐き出します。』としている点。

2. 入門編で陽母音と陽母音、陰母音と陰母音の組み合わせについて注意して陽母音と陰母音の組み合わせがないことを指摘している事。

3. 入門編でパッチムの使い方について詳述している事。

例えばパッチムが二つある場合には、韓国語のアルファベット「カ、ナ、ダ、ラ、…」の順に早いものを発音するとしている点とその例外を指摘している点。

4. 「韓国語で話しましょう」の第二課で鼻音化と濃音化、及び分かち書きに注意している点。

5. 第二課で「この/その/あの/どの」について注意している点。

6. 第三課で助詞の「に、へ」、及び存在詞について注意している点。

7. 第四課で用言の語幹について注意している点。

8. 第五課で「で/へ」についてパッチムのある場合とない場合について注意している点。

9. 第六課で「し/するのために」についてパッチムのある場合とない場合について注意している点。

10. 第七課で「〜から〜まで」について(場所・空間)の場合と(時間)の場合に関する違いを指摘している点。

11. 第七課で、二通りある、動詞や形容詞の否定文について注意している点。

12. 第八課で「〜です。〜ます。」で終わる動詞・形容詞の語幹の最後の母音が陰母音の場合と陽母音の場合について注意している点。

13. 第八課で「〜です。〜ます。」の否定形「〜ません(か)。〜くありません(か)。」について説明している点。

14. 第八課で「〜です。〜ですか。及び「〜じゃありません。〜ではありません。」の前の名詞にパッチムのある場合とない場合の違いについて説明している点。

15. 第九課で、1, 2人称の願望・希望、「〜したい」と、3人称の願望・希望「〜したがって

いる」の違いについて説明している点。

16. 第九課で複数形と意思・未来・推量・婉曲表現について説明している点。

17. 第十課で漢数詞を使った場合の助数詞について説明している点。

18. 第十課で勧誘の「〜しましょうか」と「〜しましょう」の違いについて説明している点。

19. 第十一課で固有数詞とそれを使った時間について説明している点。

20. 第十一課で確認「〜でしょうか。〜よね?」「感嘆・同感「〜ますね。〜ですね。」について説明している点。

21. 第十二課で数詞の使い方「〜に、〜につき、〜で」や依頼・頼み「〜して下さい」について説明している点。

22. 第十三課で敬語・尊敬形の、語幹にパッチムのある場合とない場合について説明しつつ、特殊な敬語(尊敬語と謙讓語)の例を挙げている点。

23. 第十四課で用言の過去形について、語幹の最後の母音が陽母音か陰母音であるかの場合の違いについて説明している点。

24. 第十五課で「もっと/より少ない、足らない、まだ、〜なんですよ。〜だからですよ。〜し始める、〜しだす」などの文形を示し、解説をしている点。

25. 付録で用言の変則活用について詳述している事。

26. 全般的にすぐ書き込める練習問題が多い事。

(松本敏幸)